

彙 報

(1)

○1968年度の本会総会は、6月15日午後1時～4時、京大人文科学研究分館ホールで開催。会務報告ののち、前川和也氏「原始民主政」論とアメリカ文化人類学——シュメール社会の発展段階論をめぐって——、および小山喜平氏「イランの陶器村」（8ミリ映画使用）の研究報告が行われた。

○日本オリエント学会は、3月1日 Prof. Dr. Ezatola Negahban（テヘラン大学文学部）の講演会「イランの考古学」を京大文学部考古学教室と共催。『オリエント』Vol. IX, No.4（加藤一朗・岡崎正孝氏外）、Vol. X, Nos. 1-2（佐藤進、岸本通夫、中村満次郎、井本英一氏外）をそれぞれ42年12月、43年5月に刊行。○羽田記念館からは『五体清文鑑訳解』下巻総索引が1月刊行された（本書上巻については本誌 No. 17, p.54参照）。

(2)

○田村実造氏は京大を停年退官（3月31日）、京都女子大学教授に就任された。同氏の京大最終講義「遊牧民族と農耕民族の歴史的関係——東アジアと西アジアの場合——」は、1月22日京大文学部第1講義室で行われた。○岡崎正孝氏（アジア経研所員）の『イラン・カスピ海地方米作農村の経済構造——ギーラン州ハサナバート村の事例——』（アジア経済研究所所内資料 農業構造分科会 No.1）は1月刊行。○護雅夫・別枝達夫氏の『絹の道と香料の島』（文芸春秋『大世界史』3）は2月刊行。○善波周氏（仏教大）は高知県美香郡夜須町坪井（電赤岡〔08875〕4～3371）に帰郷。○梅棹忠夫氏（京大）は、3月～4月リビアに学術調査のため出張○間野英二氏は4月1日付、阪大文学部（東洋史学）助手に就任。○吉川宋氏（広大）は広島市牛田町天水（あまず）山226の6広大天水宿舎60号に転居。○松平千秋氏（京大）の『新ラテン文法』（国原吉之助氏と共著 南江堂）は4月刊行、『ギリシア語文法』（田中美知太郎氏と共著 岩波書店）は5月刊行。○岸本通夫氏（阪大）の『古代オリエント（河出書房『世界の歴史』2）は4月刊行（伴康哉、富村伝、山本茂、吉川宋、前川和也諸氏と協力執筆）、○西田竜雄（京大）は『西夏語の研究』で昭和43年度（第58回）日本学士院恩賜賞を授与された（5月30日）。○岩本裕氏（橘女子大）の Sumāgadhāvadāna（仏教説話研究第2）および『梵文和訳大無量寿経』（法蔵館）は6月刊行。○関本至氏（広大）の『現代ギリシャ語文法』（泉屋書店）は6月刊行○服部正明氏（京大）の Dignāga, On Perception, being the Pratyakṣ-
apariccheda of Dignāga's *Pramāṇasamuccaya* from the Sanskrit fragments and the Tibetan versions, は Harvard University Press から刊行。○加藤九祚氏（平凡社勤務）訳『現代イランにおける農業関係』（原書は Sh. M. Badi: Agrarneye Otnosheniya v Sovremennom Irane, Akademiya Nauk SSSR, Moskva 1959）は5月刊行。